

**授業概要**

絵画造形表現を実践的に学ぶ。実際に保育場面で活用できる様々な実践を通じて、色々な材料技法を体験する。自己の造形感覚を触発しつつ、こどもの成長に寄り添い、自由な表現をサポートするために、保育者としての適切な指導のあり方を考えるよう指導する。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	自分のなかの子どもと出会う（色の記憶から）
第 3 回	造形あそびとその発展的実践（1）ボールペンドローイング
第 4 回	造形あそびとその発展的実践（2）紙立体
第 5 回	造形あそびとその発展的実践（3）描画材料
第 6 回	造形あそびとその発展的実践（4）色彩材料
第 7 回	紙の可能性（1）はりこのアニマルハットの製作
第 8 回	紙の可能性（2）骨組みを作る
第 9 回	紙の可能性（3）クラフト紙を貼り重ねる
第 10 回	紙の可能性（4）彩色する
第 11 回	紙の可能性（5）仕上げ
第 12 回	材料の組み合わせ（1）ロープと粘土で人形を作る
第 13 回	材料の組み合わせ（2）彩色と仕上げ
第 14 回	観察と表現（よく見て描く）
第 15 回	作品持ち帰り用バッグを作る（かんたんステンシル）
第 16 回	課題のまとめ 作品返却

**到達目標**

絵画造形表現の基礎的な技法材料について理解を深め、自身も創造的で自由な表現を楽しむことができること。自他ともに表現から学びあい、尊重しあえること。

**履修上の注意**

必要な画材、用具を用意するので教材費¥1,000が別途必要となります。  
各自、水彩絵の具一式のみ用意すること。（ポスターカラーなど手持ちのもので良い。）

**予習・復習**

基本的には授業時間内での作業とする。事前にアイデアを考えてくる、または遅れた作業を挽回するなどの指示をすることがある。

**評価方法**

製作に取り組む姿勢、提出作品の完成度と内容、出席状況、準備、後片付けを含めた総合評価。  
課題作品60%、平常点20%、まとめレポート20%。

**テキスト**

必要に応じて資料を配布する。